

事業計畫書

平成31年度

施設名 横浜市白山地区センター

指定管理者

NPO 法人建物管理ネットワーク

1 施設管理に関する基本方針

(1) 施設の管理運営について

- ① 基本理念について
- ② 予算の執行について
- ③ サービスのあり方について

(2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

- ① 地域の特徴のとらえ方と運営への反映の考え方
- ② 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
- ③ 併設施設、他施設、地域活動をする団体、との連携

(3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について

- ① サービス提供に関する基本的な考え方
- ② 施設の利用に関する取扱いについて
- ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

(4) 施設の経営に関する考え方について

- ① 本年度の経営に関する基本方針について
- ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
- ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

(5) 職員体制・情報保持等の考え方について

- ① 職員の配置及び採用について
- ② 職員の研修計画について
- ③ 個人情報の保護の措置について

(6) 緊急時対策について

- ① 防犯、防災の対応について
- ② その他緊急時の対応について

(7) 施設の保全について

- ① 建物・設備等の保守・点検について
- ② 清掃業務について
- ③ 植栽・樹木の維持管理について

2 自主事業であること

(1) 自主事業計画に対する基本的な考え方

- ① 自主事業について
- ② 自主事業の運営方法について
- ③ P R の強化について

3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて（必要に応じて別紙(様式任意)で作成をお願いします。）

(1) 稼働率向上に向けた取り組みについて

(2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて

(3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて

(4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

1 施設管理に関する基本方針

(1) 施設の管理運営について

- ① 基本理念について
- ② 予算の執行について
- ③ サービスのあり方について

① 基本理念について

白山地区センターは、地区センター利用要綱を基本とし、

- ・安全・安心、快適で清潔な環境づくり
 - ・地域における子育て支援・青少年の育成と生涯にわたる健康づくりの推進
 - ・ホスピタリティー精神あふれる運営による利用者の満足度の追求
- の三つの柱をもって、民間の活力を活かしながら具体化してまいります。

② 予算の執行について

収入（利用料、雑収入、自主事業、目的外収入）、支出は目標に基づき、民間企業の持てる特性を活かした管理運営に努めます。

また、無理・無駄の少ない経費の節減に努め適正な縮減と、最小経費で効果的な執行が出来るよう努めます。半期ごとのP D C Aを行います。

予算の余剰金が見込まれた場合は、利用者の意見・要望を基に、施設の運営やサービス向上に生かし利用者及び、地域還元を考慮し生かしてまいります。

③ サービスのあり方について

乳幼児からご高齢者まで多くの方が集う施設ですので、公平性を旨としたサービスに努め、どなたにも安全・安心な環境作りを心がけ、満足いただける運営に努めます。スタッフの多くは、白山地区センターの近隣住民です。その地域力を活かし、情報の発信とニーズのキャッチに努められるよう指導育成し、事業・業務に生かしてまいります。

施設の利用・情報提供等も公平さと誠意をもって行い、地域に愛され利用されるよう積極的な対応に努めます。

その他、利用団体への情報提供の充実、自主事業の情報提供の充実、白山地区センター「私たちの目標」に基づき、接客の充実に努めます。

「白山地区センター私たちの目標」

- 乳幼児からご高齢者まで、誰もが気軽に集える施設づくりをいたします。
- お客様が使いやすい、明るい環境づくりをいたします。
- お客様を笑顔でお迎えし、ホスピタリティー精神あふれる管理運営をいたします。
- 地域の皆様の交流の場としての活動支援と情報提供を積極的にいたします。
- また、活動が快適にできるよう、安全・安心な環境づくりをいたします。

1 施設管理に関する基本方針

(2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

- ① 地域の特徴のとらえ方と運営への反映の考え方
- ② 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
- ③ 併設施設、他施設、地域活動をする団体、との連携

① 地域の特徴のとらえ方と運営への反映の考え方について

白山地区センターは南側に閑静な住宅地が広がり、横浜線沿いには白山ハイテクパークや高層マンションが建ち、昭和40年代に開発された住宅街、自然豊かな農地、駅周辺の新旧様々な商業地区など、特色ある地域が交差する中心に位置しています。

緑区全体は横浜市の中では高齢化率・生産年齢人口比率はほぼ平均、年少人口比率がやや上回ります。しかし、この白山地区センターの近隣地域においては、むしろ高齢化率が高く、健康年齢維持に関わるもの、生涯の学びの場となるもの、地域ボランティアのきっかけとなるものなどが不可欠です。また地域の見守りとして、地区センターは何ができるのか、地域との連携に一層の力を入れ、情報を取り入れていくことも大切なことと捉えています。

② 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方

- ・利用者会議やセンター委員会を開催し地域や利用者の声を頂き、運営に反映させていきます。また、日常運営の中でご利用一般者のご意見や自主事業参加者アンケートなどの提案・感想などを敏感にとらえ、サービス運営に反映させてよりよい環境や、ご利用便宜の充実を図ります。
- ・頂いたご意見・ご提案等に対して、迅速な対応と運営への反映に努めます。
- ・ご意見への回答は、館内掲示をしてご利用の皆様にも公表いたします。
- ・運営上の変更については、掲示板やチラシにより速やかに告知いたします。

② 他施設、地域活動をする団体との連携

体験講座を多く企画し引き続き利用団体の活動活性化に努めます。また、地域活動をする団体との連携に力を入れ地域住民の皆様の生涯学習・活動に役立てるような事業を多く計画していきます。地域の商店経営者にも協力を働きかけ、イベント等に参加していただくことで利用者に喜ばれる事業計画を展開し、センター未経験の方の掘り起こしを図ります。また、地域の小・中学校と丁寧な情報交換を心がけ、地域の子どもたちの育成の一助になるよう関わりを深め、連携してまいります。

また、事業協力の一環として、横浜市の「よこはまウォーキングポイント」のリーダー設置協力を通じて、地域住民の健康作りの活動拠点となり、地区センター未経験者の掘り起こしにもつなげていきます。

1 施設管理に関する基本方針

(3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について

- ① サービス提供に関する基本的な考え方
- ② 施設の利用に関する取扱いについて
- ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

①サービス提供に関する基本的な考え方

地域の広範な方々に公平なサービスを提供する為に、日々の運営の中でニーズの把握に力を注ぎます。

豊かなサービス、質の良いサービスの提供のために

- ・ホスピタリティ精神の理解と実践
- ・館内の掲示板の利用目的を場所ごとに明確化し、案内表示の充実に努める
- ・魅力ある豊富な自主事業の計画
- ・適正な参加コストの設定
- ・地域の回覧・ホームページなど情報発信の充実に努める
- ・スタッフ会議による業務の共有と多岐にわたる研修の実施
- ・スタッフ接遇研修の充実
- ・公平に利用していただくことを理解していただき、誰もが気持ちよく館を使っていただけるよう口頭あるいは掲示にてルールやマナーの順守を周知

②施設の利用に関する取扱いについて

地区センター条例・利用要綱に基づき、利用方法の透明化、公平な対応に努めます。

また、運営の基本は保ちつつ利用者の公平性を損なわない範囲で柔軟に対応します。

- ・新システム導入に伴い、見やすく使いやすいホームページを活用しつつ予約方法の利便性のアピールを継続し、web 予約の定着をめざします。また、よりいっそうの予約手続きの簡素化・運用面での改善に努めます。
- ・自主事業申込方法の改善（利便性を重視した受付方法の拡大として、電話による申し込みを多く取り入れ、往復はがきや事前来館等の省略化をします。）
- ・利便性のあるフリー枠を継続し、使いやすい室利用にします。

③活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

地区センターの活性化のためにも、お客様の活動の活性化のためにも、個人・団体利用者への相談・調整・助言等の情報提供は公平に行います。

- ・団体の活動活性化の手助けとなる「体験講座」を、共催で計画・実施します。
- ・求められる情報提供については、情報公開規定に基づき公開可能な限り提供し、活動の支援をします
- ・「公の場所」として、施設に関わる全ての方々がマナーを守り公共施設を大事にすることを実践します。

④ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

ご意見・苦情は指定管理者への期待・関心と受け止め「素早い対応」をモットーに誠意ある対応に努め“運営の質の向上”を図ります。

また、日頃からお客様目線を大切に、センター運営について利用者の理解と信用を得られるよう次のことに努力いたします。

- ・迅速な対応と解決への努力をします。
- ・丁寧な対応と理解を得られる対応と対策に努めます。
- ・反省と、向上心の鍛錬に努めます。

1 施設管理に関する基本方針

(4) 施設の経営に関する考え方について

- ① 本年度の経営に関する基本方針について
- ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
- ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

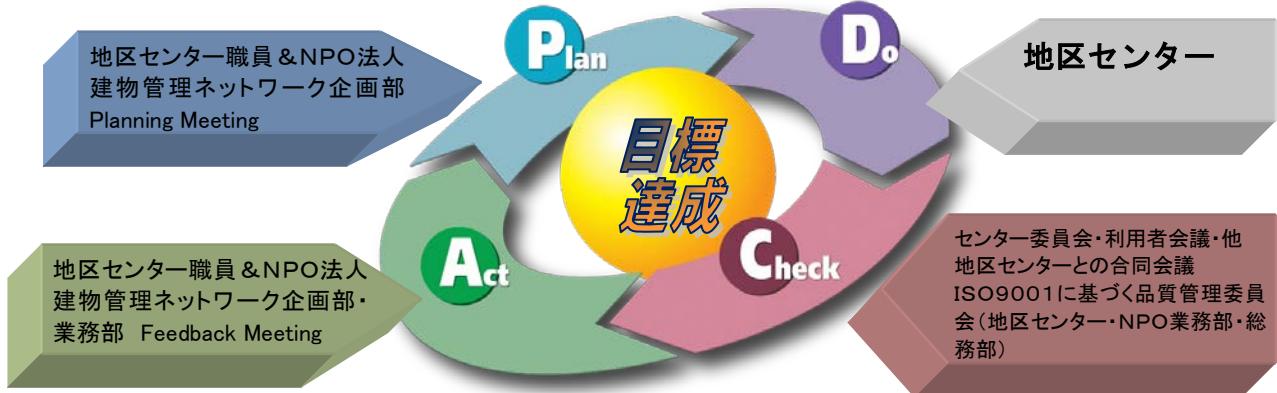
① 本年度の経営に関する基本方針について

地域及び長年の利用者と築き上げてきた財産を活かしながら、次の項目を運営方針とします。

- ・地域と施設の伝統を活かしながら、地域に密着した自主事業・運営をします。
- ・館の運営に関しては、指定管理者と地区センター職員によるP D C Aを行い、丁寧な振り返りをして改善につなげます。

管理運営の目標をより効果的に実行するため、NPO法人建物管理ネットワークの企画部、業務部・総務部が地区センター職員を側面からサポートします。

NPO法人建物管理ネットワークが運営管理している他の地区センターと情報交換、意見交換のため、定期的に合同会議を行います。



- ・地域ニーズに応えるものとして、中高年男性の地域デビュー講座（太極拳・筋トレ体操）、親子ふれあい講座（ベビーヨガ・親子卓球講座）など継続し、幅広い年齢層へ参加の働きかけとコミュニケーションづくりへの支援に取り組みます。
- ・地域住民の健康促進、ロコモ予防に役立ち、「より利用しやすい、参加しやすい地区センター」としての事業を計画していきます。
- ・講座終了後、自主活動へ移行しやすいよう数回の会場を優先で押さえるなど、便宜を図りグループ作りを積極的に支援します。
- ・環境・エコ活動（エコキャップの回収、グリーンカーテンの実施）へ積極的な取り組みを推進します。
- ・新システムについては、事務処理の効率化につながる一層の改善を積み重ね、利用者に向けてサービス向上の取り組みをします。
- ・指定管理者による研修を通して、コミュニティスタッフ一人ひとりが清掃業務をより専門的に理解し、清潔感あふれる居場所の維持に努めます。
- ・実務研修を重ねコミュニケーション能力の向上を図り、利用者との相互理解に努め、ホスピタリティーの実践につなげます。
- ・受付・作業の区別なくオールマイティーに業務ができるコミュニティスタッフを目指し全体の資質向上に努めます。

② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について

日常の管理運営に、スタッフ職員の創意工夫（節電・節水・こまめな点検による小破修繕）を活かし無理・無駄の少ない業務に努めます。

- ・修繕履歴のデータベース化を推進し、効率的な修繕計画につなげます。
- ・広報活動の充実（ホームページ、ニュースリリース、情報配信など）により利用増に繋がる運営をします。
- ・備品、物品の小さな補修・修繕は、安全を確認した上で自館対応する努力をします。
- ・業務（経理関係ソフト導入で）のシステム化を引き続き進め、簡素化に努めペーパーワークの削減に努めます。
- ・節水、節電を利用者にも呼び掛け、日々の点検を丁寧にします。
- ・もったいない精神を積極的に推進します。特に破損の頻度が高い体育室個人利用物品については、持参も含めて大切に使用するよう繰り返し声かけをして理解と協力を得ていきます。
- ・LED化したことにより館全体の照度が向上したため、こまめに節電を行い省エネに努めます。
- ・建物・設備の長寿命化を考え、積極的な日々点検を行い大がかりになる前の対応改善を心がけます。
- ・点検は担当ごとに行い不具合個所は報告会にて周知し、職員全員が館全体の状態を把握していくよう努めます。

③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

横浜市が推進する環境対策に従って、ごみゼロルート回収の執行、横浜市の3R運動啓発活動と3R夢プランに則り、小型家電回収ボックスの設置施設として、回収・リサイクルに協力を継続していきます。また、センター事業としてのグリーンカーテン、花のある環境活動にも継続して取組みます。

- ・緑化事業としてグリーンカーテンの充実を図り、花々と緑で利用者に憩える環境の地区センターを提供していきます。
- ・利用者へのごみ減量・節電意識の啓発
(利用のない場所の節電と、館内におけるゴミ0運動を利用者にも協力をお願いして取り組みます)
- ・小型家電回収ボックスを継続して設置し、地域の皆様の利便性と環境への配慮を意識していきます。
- ・指定管理者による草刈りを実施し、環境・美観を整えていきます。

1 施設管理に関する基本方針

(5) 職員体制・情報保持等の考え方について

- ① 職員の配置及び採用について
- ② 職員の研修計画について
- ③ 個人情報の保護の措置について

① 職員の配置及び採用について

配置人員	勤務時間		
常勤職員 早番 1人	8時45分～16時45分		
常勤職員 遅番 1人	13時15分～21時15分		
午前スタッフ 2人	9時～13時		
午後スタッフ 2人		13時～17時	
夜間スタッフ 2人			17時～21時
作業スタッフ 1人	7時30分～10時30分		
1日の人員数	午前4～5人	午後4人	夜間3人

*採用については、一般公募で地域の方を優先とし、ホスピタリティー精神のある、積極的な、意欲ある方を採用します。

*センター運営における滞りないサービスの提供と、館内の安全、また継続的な人材の育成を図る面でコーディネーターを置きます。

② 職員の研修計画について

*日常の業務の中で、スタッフはどの時間帯でもその役割を理解し業務にあたれるよう指導・育成をします。

	研修	内 容
4月	救急対応研修 緊急時対応研修	・外部講師(消防署)の指導による救急救命・応急処置訓練(AED等) ・消防設備機器・避難経路の確認
5月	接遇研修 避難訓練	・外部講師による接遇研修・避難訓練
6月	個人情報・人権研修	・個人情報保護研修・人権研修
9月	業務研修	・日常業務の振り返りを行い改善につなげる「業務改善研修」
11月	備品点検	・備品点検
12月	施設設備点検	・館内外の施設設備点検（担当別）
1月	施設設備点検報告会	・施設設備点検の結果報告を行い可能な個所の修繕を行う
3月	全体業務研修 不審者対応訓練	・次年度に向け「運営目標」の確認・外部講師（緑警察署）による不審者対応訓練、イメージトレーニング

*研修はいずれも全員参加とします。また日常業務について報告は毎回行います。

③ 個人情報の保護の措置について

個人情報の取り扱いについては個人情報保護条例・個人情報取り扱い特記事項及び地区センター等個人情報保護方針を遵守するよう研修を行います。

- ・個人情報についての理解を深め、情報の流出防止・持ち出しの禁止・パソコンの盗難防止など徹底します。
- ・図書の予約申し込み、貸出物品等の短期間利用のための個人情報はメモ形式にし、終了時シュレッダー処理することにより、必要以上に個人情報を保管しません。
- ・団体利用の情報提供については、原則として本人の同意がある場合以外は開示しません。

1 施設管理に関する基本方針

(6) 緊急時対策について

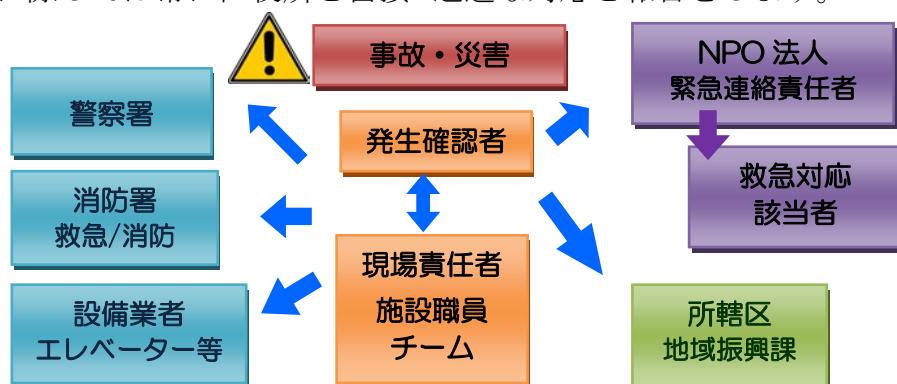
- ① 防犯、防災の対応について
- ② その他緊急時の対応について

① 防犯、防災の対応について

- ・職員全員を対象に緊急時を想定したAED操作や救急車要請研修を行い、救急時対応・事故対策に備えます。
- ・防犯カメラの活用・巡回点検（1日7回）・受付時の声かけ・室利用時の室内確認を実施し、館内の安全管理に努めます。
- ・公共施設の警備については当団体の専門分野であり、緊急時の通報システムの運用や整備対応に万全を期します。
- ・「防災マニュアル」、「災害対応時の手引き」をもとに職員全員で研修を行い、目的把握や理解を深め、水害・地震災害など具体的な事例別に対応が変わることを理解し、職員全員が災害に関して共通のイメージを持てるよう研修、防災訓練を行います。
- ・限定的な人数を災害対応者として指定するのではなく、職員全員が責任感を持ち、大きな地震が発生した時は自発的に施設に集まり補完施設としての役割を果たせるよう努めます。
- ・一時滞在ナビや防災情報Eメールなど研修時に活用し、発災時に備えます。
- ・所管の警察署・消防署など関係機関との連携を密にし、対応研修などの指導を受けます。

② その他緊急時の対応について

- ・発災時は区役所の要請に応じて補完施設の一つとしての役割を果たします。
- ・利用者の安全につきましては常に万全を期します。消火・避難誘導訓練、備品確認・備蓄品内容明記など全職員に研修を行い緊急時に備えます。消耗品として準備しているケガの応急手当物品や乾電池類は、日々の使用物品としてローテーション管理しています。
- ・異状発生に際しては常に区役所と密接・迅速な対応と報告をします。



保険：設備賠償責任保険（1億円）・レクリエーション保険（自主事業）に加入します。

1 施設管理に関する基本方針

(7) 施設の保全について

- ① 建物・設備等の保守・点検について
- ② 清掃業務について
- ③ 植栽・樹木の維持管理について

① 建物・設備等の保守・点検について

業務		NPO	地区センター	ボランティア	記述
建築物保守管理		◎	○		1
設備機器管理	運転監視	○	◎		
	日常点検	○	◎		
定期点検・整備	法定点検	◎	○		
	予防保全・整備	○	◎		
清掃	定期清掃	◎	○		
	日常清掃		○		
環境衛生管理		○	◎		2
保安警備		○	◎		3
備品管理			◎	★	4
外溝・植栽		○	◎	★	5
廃棄物処理		○	◎		6

◎主導者 ○補佐 ★ボランティア

※市立図書館と連携をとり、図書の管理・運営に携わる図書関連ボランティアの育成に力を入れます

[記述]

1	<ul style="list-style-type: none"> ①現場の目で異常発見に努め、簡易修繕します ②年に1度職員全員による設備点検を行い報告、把握し必要な修繕につなげます ③指定管理者の専門家による「修繕管理台帳」による定期巡回と現場職員への点検研修 ④施設利用者による利用終了時の清掃、異常発見時は職員が即時対応 ⑤施設点検マニュアル・箇所別点検マニュアルによる点検実施 ⑥外部専門家による法定点検実施
2	福祉保健センターの衛生管理指導による実践、レジオネラ点検・水質管理
3	モニターカメラの設置・職員による日常巡回点検・職員不在時の警備会社による警備
4	「備品管理台帳」による適切な管理・図書ボランティアによる蔵書の適切な管理
5	専門業者による剪定実施の他、職員・ボランティアによる計画的な植栽管理
6	「ISO9001」に即した取り組みに全員参加で協力し利用者への啓発活動実施

② 清掃業務について

- ・指定管理者の得意分野として、清潔・快適な環境維持を常に意識しこれにつながる提案・相談をし、館の運営に反映していきます。今年度も床の維持管理に重点を置き、継続してカーペット清掃とフローリングのワックス掛けの回数を増やします。
- ・日常の環境美化清掃については、作業スタッフの他、受付スタッフも研修を実施し、作業・受付の区別なくオールマイティーな仕事のできるスタッフの育成を目指します。

③ 植栽・樹木の維持管理について

- ・定期的な剪定により見通しのよい状態を維持することで、地域の防犯対策に貢献します。
- ・年度初めには植栽の手入れ(管理、剪定、害虫駆除)を専門業者に相談し、委託内容を確認することで、継続的な維持管理と緑豊かな環境作りに努めます。

2 自主事業に関すること

(1) 自主事業計画に対する基本的な考え方

- ① 自主事業について
- ② 自主事業の運営方法について
- ③ P Rの強化について

① 自主事業について

地域に根付き地域に受け入れられる事業を計画します。

利用の少ない世代への働きかけをさらに深め、対象を絞った企画を提供します。

人も町も元気になる地域の活性化を考えた事業を展開し、様々な世代間交流と繋がりが広がる事業計画をします。地域企業への継続的な地区センターの周知と自主事業PR、子育て支援を通じて、地域連携事業の側面からもかかわりが持てる読み聞かせ事業の展開を継続します。

PDCAに基づき、丁寧な振り返りを行い事業に反映させます。

提案の趣旨に沿い、地域の特徴・ニーズを事業に組込む地域共創型の活動を計画します。

- ・子育て支援（図書ボランティアによる読み聞かせ等、地域の中で繋がりを深められる親子支援事業の継続）
- ・中高年男性の地域参加（講座参加で健康と仲間づくりが広がる事業を継続）
- ・友人同士・子ども同士あるいは家族みんなで楽しめるセンターまつり・こどもまつりなどのイベント事業
- ・地域の学校と連携をして、夏休み児童向けの学習支援事業（ダンス・料理・工作など様々なジャンルの事業を企画）
- ・体験講座（団体活動の活性化と仲間づくりの拡大事業、地域力の掘り起こし）
- ・白山サロン（緑区の登録アーティストによるコンサートや地域住民の繋がりを深めるための交流事業）

② 自主事業の運営方法について

講座の内容についてはPDCAサイクルによる振り返りを行い、よりよいものを追求していきます。

中高年男性の地域デビュー講座（太極拳・筋トレ体操・古代史）親子参加講座（ベビーヨガ・親子卓球教室）など、幅広い年齢層への働きかけと支援に継続的に取り組み、地域住民のニーズである健康促進に役立ち、「より利用しやすい、参加しやすい地区センター」としての事業を運営していきます。

③ P Rの強化について

- ・地域の様々な年代層の方への情報提供については、館内掲示や区報メディアなどの他に、地域企業へのポスター掲示、センターだより、一般紙地域欄へのニュースリリースなど、積極的に働きかけます。
- ・小中学生対象の事業については学校と連携を取りながら周知を行います。
- ・パソコン、スマートフォンなどのインターネットを活用した情報提供を引き続き行います。
- ・講座参加申込の方法を「はがき」から、「電話予約」「直接来館予約」など手続きの簡単なものへと工夫していきます。

3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて（必要に応じて別紙（様式任意）で作成をお願いします。）

- (1) 稼働率向上に向けた取り組みについて
(目標 稼働率 60%)
- (2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて
(目標 利用料金収入平成27年度実績 5%増)
- (3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて
- (4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

1) 稼働率向上に向けた取り組みについて

新システムの定着に伴い、稼働率の維持につながってきています。利用者の申し込み時の負担が減少したことは大きく、予約のために地区センターに足を運ぶ回数の減少は高齢者や遠くにお住まいの方にとって、利便性が高いようです。また、比較的若い世代の方の利用方法に合うこと、“ネットで予約”は受け入れやすい申し込み方法と言えます。利用者のご意見も聴きながら運用において改善可能なところから対応し、事務処理の効率化も踏まえ、より使いやすいシステム構築を目指すと同時にキメの細かい室利用を提供します。

自主事業は地区センターで実績がある地域講師の掘り起こしに重点をおき、体験講座を通じて内容の広がりを持たせ、地域の手による新たな事業となるように企画していきます。また、継続して事後グループ活動の支援を丁寧に行い、利用の少ない部屋・時間帯の活用を提案し、より稼働率の向上につなげます。予約のフリー枠のアピールは継続し、稼働率・収入アップを図り、使いやすい施設としての役割を果たしていきます。

地区センターライフ条例に定められた料金設定を基準とした運営をしていきます。

(2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて

健康維持、向上の効果を期待して通信カラオケの利用促進など年齢、体力等にあまり左右されない事業を企画し、これまで地区センターに関わったことのない新たな利用者の掘り起こしのきっかけにつなげます。また、新システムの運用において、加入募集団体の照会リストの提供など、タイムリーな情報を準備し、引き続き利便性を追求していきます。応答日抽選の参加団体のうち、落選した団体のフォローを検討していきます。自主事業では比較的利用の少ない時間帯の室の活用を検討します。

(3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて

参加しやすい条件を考慮し、年齢層・対象者をしほることは気楽にチャレンジするきっかけになります。継続希望の多いものは引き続き計画して参加者の繋がりや、広がりの支援をしつつ、自主事業が時間・室の独占をすることがないよう、利用者の声を取り入れた計画をします。

子育て支援事業では、今年度も親子間でよりよいつながりを持てる事業、日本の文化に触れるきっかけになる事業を企画します。おもちゃ病院も継続し、おもちゃを通して「もの」を大切にすること、こわれても工夫して直すことができるということを、親も子も共に学び育む事業として企画していきます。

若い世代・社会人を対象にインターネットを活用した情報配信（レスポンシブデザインの充実）に力を入れ、集客に努めます。

また日頃のコミュニケーション（対応や接遇）を大切にして地域に根付いた事業の講師掘り起こしを意識し、利用の促進と内容の広がりにつなげていきます。

子どもたちの育成の場として多岐にわたるきっかけを作り、経験できる場所としてより多くの方々に情報を発信し、提供ができるよう努めます。

自主事業の内容を幅広く豊かな内容とするために、地域の個人・団体に協力を頂き、地域ニーズに合った生涯学習になる事業を進め稼働率向上を図ります。

指定管理者と行うP D C Aにより、一つ一つの事業に対して丁寧な振り返りと反映を行います。

（4）その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

目標達成のため、提案内容を運営の中心に置き、前向きに検討を重ね運営を進めてまいります。

乳幼児から高齢者まで、幅広い世代の居場所としての役割を果たすためにも、諸団体、学校関係、近隣施設などとの地域連携に努め、情報交換を行い見守りにつなげていきます。

指定管理者の特性である建物管理のノウハウを活用し、施設の現状をこまめに把握し修繕・改善において正確・的確に対応し、長寿命化を念頭に置いた管理を行います。今年度も共有スペースのカーペット洗浄回数と、小会議室・中会議室・工芸室の床（フローリング）ワックス掛け回数を増加し、施設の清潔と維持管理につなげます。

I Tサービスでは引き続き利用者のご意見を聴きながらより使いやすいものになるよう工夫していきます。

自主事業がニーズに沿った充実した内容であることは参加の継続となり、指導者にとっても、活動の活発化と地域活動への一助となります。センターとして運営目的の実現につながるよう3－Win運営法を意識した取組を展開します。

自主事業計画書

施設名 横浜市白山地区センター

自主事業計画書

施設名 横浜市白山地区センター

自主事業計画書

施設名 横浜市白山地区センター

自主事業計画書

施設名 横浜市白山地区センター

自主事業計画書

施設名 横浜市白山地区センター

事業名	①募集対象 ②募集人数 ③一人当たり参加費	自 主 事 業 予 算 額					
		総経費	収入		支出		
			指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
わんぱくこどもまつり	幼児～中学生	30,000	30,000	0	0	30,000	0
	なし						
	無料						
おもちゃ病院(4)	幼児～一般	25,400	25,400	0	20,000	5,400	0
	24人						
	無料						
合 計		2,175,000	400,000	1,775,000	836,000	592,030	686,970

自主事業別計画書

施設名 白山地区センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
土曜の朝太極拳	気軽に参加でき、継続した体力づくりの一歩となる事業です。	4月～3月 32回
男性のための筋トレ体操 1・2・3期	男性が気兼ねなく参加できる講座です。 筋力のトレーニングの積み重ねで健康寿命を延ばしていくことを目的としています。 またコミュニケーションの場・地域での仲間づくりも目的としています。	4月～3月 1期10回×3
体幹トレーニング	一般女性対象の講座です。一回ずつ参加できるスタイルで、都合に合わせて参加でき、継続しやすく楽しみながら体幹を鍛えます。	4月～3月 32回
午後の初級エアロビ&リフレッシュ	午後3時からの夕方の時間帯を活用する初級エアロビ講座。 日々の中で心身共にリラックスできるひと時に、また講師や仲間とのコミュニケーションも大切にできるひと時となるような講座を目指します。 一回ずつ参加できるスタイルで、都合に合わせて参加できます。	4月～3月 32回

自主事業別計画書

施設名 白山地区センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
カジュアルな布ぞうり作り	手軽な素材で日常で使える布草履を手作りする	7月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
日本の古代史とその文化 春	全5回を通して、様々な文献、資料から日本の古代文化について探り、歴史に親しむ講座です。	5月～6月 各5回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
日本の古代史とその文化 秋	全5回を通して、様々な文献、資料から日本の古代文化について探り、歴史に親しむ講座です。	11月～12月 各5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
籐で作るアクセサリー	籐を使って普段使いで楽しめるアクセサリーを手作りする	6月 1回

自主事業別計画書

施設名 白山地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゴーヤの グリーン カーテン作り	白山地区センターの中庭の窓辺に設置する グリーンカーテン作りに挑戦する。 園芸のプロからゴーヤの水やりや肥料の与え方などの コツも教わる。幅広い年齢層の方に楽しみながら 参加してもらえるように、持ち帰り用の苗代のみの 参加費設定とする。	5月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
音楽に合わせて 健康体操	誰でも気軽に参加できるような比較的軽めの運動。 音楽に合わせ、楽しく体操をする。 またコミュニケーションの場・地域での仲間づくりも 目的とする。	6月～7月 5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鴨居歴史散歩	地域で活動しているまちづくりグループの協力を得て、自分たちの住んでいる土地の歴史について実際にその場の訪問・見学をしながら学ぶ。	2月～3月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
60歳から始める 卓球講座	参加者対象を60歳以上に設定した初心者を対象とした 卓球講座。グリップの持ち方などの第一歩から教わり、 ゲームを楽しめるようになることを目標に チャレンジします。	6月～7月 5回

自主事業別計画書施設名 白山地区センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
白山地区センターでカラオケ体験（春）	通信カラオケを気軽に利用して頂くための講座。一時間単位を1回とて申込可能にする。健康維持、地域の方々の交流も目的の一つとして取り組む	3月 12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
白山地区センターでカラオケ体験（冬）	通信カラオケを気軽に利用して頂くための講座。一時間単位を1回とて申込可能にする。健康維持、地域の方々の交流も目的の一つとして取り組む	10月 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハウスメンテナンス 網戸の張り替え	指定管理者に講師を依頼し、無料で地域の方に実践、習得して頂く網戸の張り替え講座です。 網戸の張り替えの流れを一から一人ずつ体験していただることで、自宅でも同じように完成できるようにコツを学びます。	6月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ゴーヤ収穫祭	5月実施の「ゴーヤのグリーンカーテン作り」の参加者を中心に、白山地区センターで収穫されたゴーヤで何品かの料理を作り、試食します。	7月 1回

自主事業別計画書

施設名 白山地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵本読み聞かせボランティア・ステップアップ講座	既に読み聞かせ活動をしている人、またこれまで白山地区センターでの読み聞かせ講座参加者等を対象に読み聞かせのポイント等を学ぶステップアップ講座	8月 2回

クリスマス絵本読み聞かせ発表会	クリスマス時期に合わせ、白山地区センターの絵本読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせ読み聞かせを行います。	12月 1回
-----------------	--	-----------

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ベビーと一緒にママヨガ講座 秋・春	0~1才児の赤ちゃんと一緒に参加できるママヨガ講座。母親の癒しのひと時と、子供との触れ合いの時間を大切にすることを目的とした講座です。	9月～10月 3月 各4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
韓国語&韓国料理	韓国の文化について語学と料理を交互に学ぶ講座。 語学は基本の第一歩を学び、 料理は、家庭で気軽に作れるような素材を使って作り、 参加者で交流を深めながら昼食に頂きます。	11月～12月 4回

自主事業別計画書

施設名 白山地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
園芸講座 寄せ植え講座	テーマに沿い、園芸のプロから植物の選び方や育て方を学び、寄せ植えのレイアウトを楽しみながら自分だけの寄せ植えを作ります。	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
IT講座 スマホ入門	スマホの基本的な使い方、アプリ操作などを学ぶ	11月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
年末ハウス クリーニング 講座	指定管理者に講師を依頼し、年末の大掃除を、効率よく手軽に行えるようにコツを教わります。	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマス シュトーレン 作り	クリスマスシーズンに合わせ、 シュトーレンを手作りして持ち帰る。	12月 1回

自主事業別計画書

施設名 白山地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人のバレンタインのお菓子 カプレーゼ	イタリアのカプリ島で生まれたアーモンドパウダーを使用して作るチョコレートケーキを手作りする	2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
年越しそば打ち講座	毎年好評の「年越しそば打ち」講座を実施。 白山地区センターを拠点として活動されているそば打ち団体の講師陣の指導の下、おいしい手打ちの年越しそばを打って頂きます。	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ペン習字の一歩	毎年好評の「ペン習字」講座を継続して実施。 全5回の中でペン習字の基礎を教わり、手書きの文字に親しみます。	1月～3月 6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
フラダンス 体験講座	初心者対象のフラダンスの体験講座。 フラのステップを基礎から習い、仲間作りと団体の活性化も目的に実施する。	5月 3回

自主事業別計画書

施設名 白山地区センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子ではじめてのフランダンス体験講座	全3回を通しフランダンスの基本を教わる。団体の活性化、親子の触れ合いや仲間づくりも目的の一つとした体験講座	2月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大正琴体験講座	初心者を対象とした大正琴の入門、体験講座です。 音の出し方、譜面の読み方から始め、 全3回で数曲弾けるようレッスンします。	6月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
タヒチアンダンス体験講座	初心者対象のタヒチアンダンス体験講座。 基礎から習い、仲間作りと 団体の活性化も目的に実施する。	5月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヨガ体験講座	健康維持、仲間作りを目的としたヨガ体験講座 団体の活性化も目的に実施する。	9月 3回

自主事業別計画書施設名 白山地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
白山サロン 秋の コンサート	毎年大好評のサロンコンサートです。 プロの演奏家を招いて実施します。	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
白山サロン 新春 コンサート	毎年大好評のサロンコンサートです。 プロの演奏家を招いて実施します。	1月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プレイルームで おはなし会	白山地区センターの図書ボランティアによる絵本の読み聞かせ会。プレイルームを会場に、子供との触れ合いの時間を大切にすることも目的とします。	4月～3月 22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ペーパークラフト鑑賞会	地域在住のペーパークラフト作家の展示会。地域の方の作品の発表の場として、また交流の場となるような鑑賞会	4月 1回

自主事業別計画書

施設名 白山地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鉄道模型鑑賞会	地域で活動している鉄道模型グループによる公開展示。 様々な種類の鉄道模型に触れ、交流の場となるような鑑賞会	4月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニ鯉のぼりを作ろう	布で出来たこいのぼりに自由に絵を描きます。 出来上がったこいのぼりは、5月こどもの日のイベントで鶴見川河川敷に飾られます。	4月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わんぱく茶道体験	小学生を対象とした茶道体験講座です。 茶道の所作を学び日本の文化に親します。	1月～2月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プレゼントのおかし	家族へ感謝の気持ちを込めて、仲間と協力ながら、手作りのおかし作りに挑戦します。	6月 1回

自主事業別計画書

施設名 白山地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
家族へのプレゼント 生花のミニアレンジ	家族へ感謝の気持ちを込めてプレゼントできるよう、講師から教わり生花でミニアレンジを制作します。	5月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
七夕まつり 折り紙教室	季節の行事である七夕まつり。 願い事を書いた短冊や折り紙で作った伝統的な 笹飾りを大きな笹に飾ります。	7月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休みわんぱく ウィーク① 手芸の小物作り	夏休みの手芸の小物作り講座です。 講師に習い、自分だけのオリジナル作品に仕上げます。	7月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休みわんぱく ウィーク② 夏休み タヒチアンダンス	仲間と協力しながら、タヒチアンダンスの基礎を教わり、曲を踊れるように取り組む	8月～9月 5回

自主事業別計画書

施設名 白山地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休みわんぱく ウィーク③ ランチを作ろう	講師に教わり夏休みのお昼ごはんを皆で楽しく作ります。 子どもたちが家でもトライできるような内容で 実施します。食事から後片付けまで皆で協力して 行います。	8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わんぱく バドミントン 教室	小学生を対象にしたバドミントン講座です。 初めて参加する子どもは基礎からしっかりと学び、 これまで参加したことのある子どもは、 さらに上達できるようにコーチから教わります。	9～10月 5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わんぱく 空手教室	空手に親しむための入門講座です。 基礎の型を講師から習い、心と身体を鍛えます	9月～10月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子バドミントン教室	小学生と保護者を対象にしたバドミントン講座です。 基礎を学んで親子でバドミントンを楽しめるように レッスンします。	2～3月 5回

自主事業別計画書

施設名 白山地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子卓球教室	小学生と保護者を対象にした親子卓球教室です。 基礎を学んで親子でゲームができるように レッスンします。	11月～12月 5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で作るクリスマスのお菓子	クリスマスにちなんだお菓子作りに親子で挑戦。 家でも取り組めるようなレシピで協力しながら楽しく作る	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わんぱく クリスマスの小 物作り	冬の間飾って楽しめるクリスマスの小物を作ります。 講師に習い、自分でレイアウトを考えながら オリジナルの作品に仕上げます。	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で作ろう ランチピザ	講師に教わり、生地からピザ作りをします。 親子で協力して作り、ランチで頂きます。	3月 1回

自主事業別計画書

施設名 白山地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わんぱく バレンタインの お菓子	バレンタインをイメージしたお菓子作り。 皆で協力して完成させる楽しさを学びます。 家でも作れるようなレシピで取り組みます。	2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わんぱく こどもまつり	地域の子どもたちが楽しく一日を過ごせるように 毎年取り組んでいる事業です。 ゲームやおやつ作り、クラフト作りなど企画します。 また地域の小学生・中学生に、ボランティアスタッフ として関わってもらえるように働きかけます。	3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃ病院	故障してしまった大切なおもちゃをおもちゃドクターに 修理してもらいます。 修理の過程を見学し、物を大切にする心を育てます。	4月～3月 4回

平成31年度 「白山地区センター」 収支予算書兼決算書
(31. 4. 1~32. 3. 31)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	37,960,000		37,960,000		37,960,000	横浜市より
利用料金収入	4,000,000		4,000,000		4,000,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	1,775,000		1,775,000		1,775,000	
自主事業収入			0		0	
雑入	950,000	0	950,000	0	950,000	
印刷代	100,000		100,000		100,000	
自動販売機手数料	500,000		500,000		500,000	
駐車場利用料収入			0		0	
その他（広告ラック収入・預金利息）	350,000		350,000		350,000	
収入合計	44,685,000	0	44,685,000	0	44,685,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	21,913,600	0	21,913,600	0	21,913,600	
給与・賃金	20,241,800		20,241,800		20,241,800	館長・副館長及び時給職員18名
社会保険料	1,508,800		1,508,800		1,508,800	
通勤手当	100,000		100,000		100,000	常勤職員・時給職員
健康診断費	45,000		45,000		45,000	常勤職員・時給職員
勤労者福祉共済掛金	18,000		18,000		18,000	
退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費	2,782,000	0	2,782,000	0	2,782,000	
旅費	20,000		20,000		20,000	出張旅費
消耗品費	500,000		500,000		500,000	事務消耗品費
会議賄い費	31,000		31,000		31,000	
印刷製本費	10,000		10,000		10,000	
通信費	216,000		216,000		216,000	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	329,000	0	329,000	0	329,000	
横浜市への支払分	101,000		101,000		101,000	目的外使用料等
その他	228,000		228,000		228,000	リース経費等
備品購入費	600,000		600,000		600,000	
図書購入費	220,000		220,000		220,000	
施設賠償責任保険	46,000		46,000		46,000	
職員等研修費	70,000		70,000		70,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	230,000		230,000		230,000	
手数料	300,000		300,000		300,000	
地域協力費	200,000		200,000		200,000	地域イベントの協力費等
事業費	2,175,000	0	2,175,000	0	2,175,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	2,175,000		2,175,000		2,175,000	
自主事業費			0		0	イベントの実施
管理費	11,361,000	0	11,361,000	0	11,361,000	
光熱水費	4,770,000	0	4,770,000	0	4,770,000	
電気料金	2,900,000		2,900,000		2,900,000	
ガス料金	1,300,000		1,300,000		1,300,000	
水道料金	570,000		570,000		570,000	
清掃費	870,000		870,000		870,000	日常・定期清掃費
修繕費	2,465,000		2,465,000		2,465,000	
機械警備費	229,000		229,000		229,000	
設備保全費	3,027,000	0	3,027,000	0	3,027,000	
空調衛生設備保守	1,036,000		1,036,000		1,036,000	
消防設備保守	121,000		121,000		121,000	
電気設備保守	130,000		130,000		130,000	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	1,740,000		1,740,000		1,740,000	ピアノ、音響、コピー機保守費
共益費			0		0	
公租公課	2,100,000	0	2,100,000	0	2,100,000	
事業所税			0		0	
消費税	1,900,000		1,900,000		1,900,000	
印紙税			0		0	
その他（）	200,000		200,000		200,000	
事務経費 （計算根拠を説明欄に記載）	3,003,400	0	3,003,400	0	3,003,400	
本部分	3,003,400		3,003,400		3,003,400	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分			0		0	
ニーズ対応費	1,350,000	0	1,350,000	0	1,350,000	
支出合計	44,685,000	0	44,685,000	0	44,685,000	
差引	0	0	0	0	0	
自主事業費収入			0		0	
自主事業費支出			0		0	
自主事業収支			0		0	
管理許可・目的外使用許可収入			0		0	
管理許可・目的外使用許可支出			0		0	
管理許可・目的外使用許可収支			0		0	